



外国出張報告書

平成 26 年 11 月 19 日

1. 出張国名 パラグアイ、ブラジル
2. 出張月 平成 26 年 10 月
3. 出張目的 プロジェクトサイトの監事監査

4. 成果の概要

パラグアイ：アスンシオン大学構内にある事務所等において、出納員に対して、提出資料に基づいて「低炭素型農村開発モデルの確立 b) 亜熱帯地域における植林 CDM を活用した低炭素型農村社会の構築手法の確立」および e) 亜熱帯地域における植林 CDM を活用した低炭素型農村社会の構築手法の確立」プロジェクトに関して、ヒアリング形式で会計処理、研究進捗状況、生活環境等に関する監査を行うとともに、関係者との意見交換、さらに研究サイトおよび植林の行われた現地の巡視をおこなった。監査後、出納員に対して、会計処理は適正に行われていたが、いくつかの改善すべき点があること等を指摘し、所見を述べた。

ブラジル（ロンドリーナ市）：Embrapa 大豆研究所内にある事務所において、出納員と「地球環境劣化に対応した環境ストレス耐性作物の作出技術の開発」および「南米におけるさび病抵抗性ダイズの開発」プロジェクトに関して、ヒアリング形式による会計処理と現物確認による資産管理、研究進捗状況、生活環境等に関する監査を行うとともに、関係者との意見交換、さらに研究所内の温室・試験地の巡視を行った。監査後、出納員に対して、会計処理は適正に行われていたが、保有資産に関していくつかの改善すべき点を指摘し、所見を述べた。